

法学再入門 秘密の扉

——民事法篇

木庭 顕

2016年5月発売 / 410頁 / 本体4600円+税
A5判 / 並製



編集
担当者
から

小誌2013年4月号～2015年3月号までの好評連載の待望の単行本化です。法学の学習になじめない学生のために著者が実際に行ったソクラティック・メソッド式の講義を、紙上で余すところなく再現しました。「二ボレ」Profと学生たちによる、面白くて鋭い、白熱した議論が展開されています。

あくまでも「再入門」なので、ひととおり法律を学習したところで読むと、頭の中でモヤモヤとしていた疑問が「なるほど、そうだったのか!」と、ストーンと腑に落ちる快感が味わえます。

とはいえ、「まだ、学習中だから……」という人でも十分楽しめる工夫が凝らされています。それは、各回の冒頭に出てくる「ぜんべえドンとオハナぼう」の物語。まずは物語を面白可笑しく読んでみてください。そこで疑問がわけばしめたもの。「二ボレ」Profと学生たちの議論を読み進めていくうちに、自然と秘密の扉をくぐっているかもしれません。(五島)

Point!

P

「ぜんべえドンとオハナぼう」の物語を楽しんでから、白熱の議論を読んでください。



ぜんべえドンとオハナぼう, 第四話

ぜんべえドンとオハナぼうは再び争せに暮らしています。おはなぼうは働き者で、おやかな様ですが、おやかなでぜんべえドンは定職に就くことができず、貧しいながら、生活は安定しています。

それでも最近、多し気がかりなことがありました。リョウサクどんなどとはとくにいなくなり、返りはゴロンクやゴクウなどでおめられ、しかも狭大な土地を保有するばかりか、大規模に機械化し、そしてまたリッチな生活を誇示し始めました。しかし、根が存気なぜんべえドンは、「ま、いい、ひとはひど、おいはおいもの」と相変わらずつつつと小さな畑を耕しています。

或る晴れた日の朝、ゴンベえどんが久々にぜんべえドんのところへやって来ました。ぜんべえドんの顔の中では様々なことがフラッシュバックし、イヤな予感がしましたが、意外にもゴンベえどんは、にごやかな様情であるばかりか、たくさんおみやげを持って来て、積み手などをしています。

「ムリシユー! ナヴァ! オフランスもおひりてはげれば買交ないでやんすよ! こんちヨリコレートは! おはなぼうがジャンゼリッゼンぞを歩けば、バリジャンが人だかり、モチモチのハナカガカでやんしたつこうに、まっつこと残念でけすなあ。でもこの私の心の中で、おはなぼうは、ジャンゼリッゼンをアムシナナド、そしてシヨコラをひとぬめ! だから買いましたよ! ぜんべえドンのためばかりか、おはなぼうのためです。」

ぜんべえドンは、たぶんゴンベえどんは気が触れたに違いない、と思いましたが、チョコレートはありがたく受け取りました。しかしそこですかさずゴンベえどん、

「おはなぼうとぜんべえドん、おはなぼうがジャンゼリッゼンに是非理れてはごさしやあ、ありがとうございます、筆のおひりへ。」

「おは、出来ればせつしてんども、金が必要なの。」

何をおっしゃるぜんべえドん、溜み渡る秋の空の下、心を広く持つて、返りをすすんで見直ししようねえ。御、御、機械化して作物を高く売って、リッパリッパに暮らしてしまっすよ、隣のゴロンクどんなど、ちつハリアは豊か、今度はワキだん、と書こうましたよ。

「んだんども、その機械をどうやって買うんか、オイゼは分けるねえ、金が必要だよや。」

「ムリシユー、シリアアア!」

とゴンベえどんが急にわけのわからない言葉を発したので、それだけぜんべえどんは動転してしまいました。

ぜんべえさま、遠慮なさらずともよろしくつておきます。私とおはなさまの仲ではございせんか。お金もと獲らてもご利用していただきます。特別のお客様のためにウィップ・プライマリー・ローン・スベシヤルキヤンペーン中でございませう。直ちに契約したいと思つた。何と年率30%でもお好き得勝益に御金取込と申してございませう。スピードに御用なアア! があると思われ、おはなぼうもちろん、ヒトリ子キタ、ハシメテノコウリガサ、ルルボノアツタ